

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	兼商マデックEW
製品コード	AK6204J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所: 04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所: 04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(植物成長調整剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分2
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当なし
注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ 水生生物に毒性

#### 注意書き

【安全対策】  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
必要なとき以外は環境への放出は避けること。  
【応急措置】  
該当なし  
【保管】  
該当なし  
【廃棄】  
内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	2-メチル-4-クロロフェノキシ酪酸エチル (一般名 MCPBエチル)
分子式(分子量)	C11H13ClO3
CAS番号:	10443-70-6
官報公示整理番号	化審法: -

(化審法・安衛法)  
濃度又は濃度範囲

安衛法：－  
20%

[その他の成分]  
化学名又は一般名  
濃度又は濃度範囲

水、界面活性剤  
80%

#### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹸と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けさせること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けさせること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミストや蒸気等を吸入しないようにする。 風上から作業し、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
注意事項 安全取扱い注意事項	みだりにエアロゾル、蒸気等が発生しないように取り扱う。 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。 蒸気等を吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 保管条件	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。 施錠して保管すること。

容器包装材料 データなし。

**8. ばく露防止及び保護措置**

設備対策	局所排気装置を設置すること。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
保護具	適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。
呼吸器の保護具	適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。
手の保護具	適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。
眼の保護具	適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
衛生対策	取扱後はよく手を洗うこと。
	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态	形状	液体
	色	類白色
	pH	6.3
比重(密度)		1.04(20°C)

**10. 安定性及び反応性**

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

**11. 有害性情報**

急性毒性	経口	ラット経口LD50 3440 mg/kgに基づき、区分5とした。
	経皮	ラット経皮LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性		ウサギにおいて皮膚刺激性がみられたが、極軽微であったため、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性		ウサギにおいて眼刺激性がみられたが、極軽微であったため、区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。

**12. 環境影響情報**

水生環境急性有害性	コイ96時間LC50値3.68mg/L、ミジンコ48時間EC50値3.98mg/L、藻類72時間EC50値13.8mg/Lであったことから、区分2とした。
-----------	---

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制	該当なし
国内規制	該当なし
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、

漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

農薬取締法	第23427号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし
労働安全衛生法	該当なし

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。